

目次

はじめに

第1章 ワークシステム・サポートプログラムの概要	1
1 WSSP の概要	1
(1) WSSP の基本構成	2
(2) 就労セミナー	3
(3) 作業	3
(4) WSSP における個別相談	4
第2章 問題解決技能トレーニングと SOCCSS 法	6
1 SOCCSS 法	6
(1) SOCCSS 法とは	6
(2) SOCCSS 法の特徴	8
(3) 他の問題解決の方法と SOCCSS 法との相違	10
(4) SOCCSS 法の実施用紙	11
2 グループワークで実施する WSSP 問題解決技能トレーニング	16
(1) これまでのグループワークで実施する WSSP 問題解決技能トレーニング	16
(2) グループワークにおける問題解決技能トレーニングの基本的な考え方	18
第3章 背景と目的	20
1 改良に向けた支援ニーズと課題点の整理	20
2 改良の方向性	21
第4章 SOCCSS 法に基づいた個別相談モデルの作成と試行	22
1 問題解決技能トレーニングの個別相談での活用可能性について	22
2 個別相談モデルの作成と試行結果	23
(1) SOCCSS 法の概要	23
(2) 実施事例 (A さん)	29
(3) 実施事例 (B さん)	34
3 SOCCSS 法の簡略版の作成と事例	38
(1) 簡略版の作成目的	38
(2) 簡略版の実施方法	38
(3) 簡略版の留意事項	38
(4) 実施事例 (C さん)	40
(5) 実施事例 (D さん)	45
(6) 簡略版の効果	49
(7) 簡略版の実施上の工夫	49
4 SOCCSS 法及び SOCCSS 法 (簡略版) のマニュアル	50

第5章 個別相談場面での活用のための工夫と留意事項62

- 1 個別相談に活用することのメリット62
 - (1) 相談の枠組みがあると、相談を進めやすい62
 - (2) 問題状況を整理する方法を学べる62
 - (3) 具体的な実施方法とその振り返りまで考えることができる62
- 2 個別相談に活用する際の工夫・ポイント63
 - (1) 対象者にあった選択肢の立て方63
 - (2) 対象者の納得性・自発性の促し方63
 - (3) 対象者像に応じた工夫64
- 3 実施上の留意事項66
 - (1) 事前に支援者が SOCCSS 法の目的や流れを覚えておく必要がある66
 - (2) 目的や理由を対象者に丁寧に説明する66
 - (3) 全体の流れを説明し、見通しを持ちやすくする66
 - (4) 相談相手に合わせて、実施の仕方を変える66
 - (5) 問題の内容等によっては、実施に時間を要する67

第6章 まとめ67

教材集69

- 1 SOCCSS 法 実施の流れ71
- 2 SOCCSS 法の活用のポイント73
- 3 SOCCSS 法 実施用紙（利用者用マニュアル）75
- 4 SOCCSS 法 実施用紙77
- 5 SOCCSS 法 支援者用記録用紙79
- 6 SOCCSS 法（簡略版）実施の流れ85
- 7 SOCCSS 法（簡略版）支援者用記録用紙88